

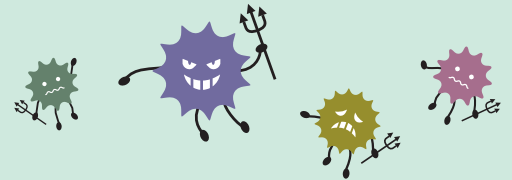
株主の皆様へ

FUJIFILM NEWS

Pick Up 1



写真の現像技術を応用
インフルエンザ診断システム
「富士ドライケム
IMMUNO AG1」



Pick Up 2

写真を撮る喜び、プリントして見せる、そして飾る楽しさを多くの方に

今年で
10周年!

"PHOTO IS" 想いをつなく。
30,000人の写真展



株主の皆様へ

次なる成長へ向けて
中期経営計画
「VISION 2016」は
順調な進捗



上期業績ハイライト

営業利益・当社株主帰属四半期純利益
ともに順調に伸長

セグメントの状況

イメージングソリューション
フォトイメージング事業が大幅に増加し、
業績に寄与

次なる成長へ向けて 中期経営計画「VISION2016」は 順調な進捗



平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

2015年度上半期の振り返り

2015年度上半期（2015年4月1日～9月30日）の業績は、フォトイメージング、メディカルシステム、グラフィックシステム、ドキュメントなどの事業を中心に販売が好調に推移したこと及び、各事業における収益性改善によって、売上高は1兆2,261億円（前年同期比3.6%増）、営業利益は807億円（前年同期比12.7%増）の増収増益となりました。

中期経営計画「VISION2016」は、この2015年度上半期で3年計画の折り返しとなりますが、非常に順調に進捗しています。

各事業の順調な進捗に加え、次の成長フェーズに向けた投資も強化しています。特に中長期的に成長を期待する領域が「再生医療事業」です。富士フィルムは、写真フィルムの研究開発で培った高機能素材技術とエンジニアリング技術を生かして再生医療の実用化に取り組んでおり、再生医療に必要な細胞生育・増殖のための“足場”として人工タンパク質「リコンビナントペプチド」を開発、販売しています。さらに、国内で再生医療製品の事業展開を行っている株式会社ジャパン・ティッシュ・エンジニアリング（J-TEC）に加え、iPS細胞の開発・製造の世界的なリーディングカンパニーである米国Cellular Dynamics International, Inc.（CDI社）を連結子会社化することで、再生医療事業領域の体制を強化しました。富士フィルムの高機能素材技術・エンジニアリング技術、CDI社のiPS細胞関連技術・ノウハウ、J-TECの治療用細胞の生産技術とのシナジーを発揮させ、再生医療のグローバルリーダーを目指します。

また、新たな価値創出活動も加速しています。昨年1月に東京本社に開設した、当社の基盤技術・コア技術と、

それらを活用した材料・製品・サービスを、企業・研究機関などの社外のビジネスパートナーに示し、新たな価値を「共創」する場である「Open Innovation Hub」では、様々なコラボレーションが進んでいます。今年度には、イノベーションと新規ビジネスの創出をさらに加速するために、米国、欧州にも「Open Innovation Hub」をオープンしました。オープンイノベーションから生み出される、新たな価値ある製品やサービスにもご期待ください。

成長投資とのバランスを取りながら、株主還元も強化しています。既に7月までに500億円規模の自己株式取得を実施し、さらに1,000億円を上限とした取得を8月より進めています。配当につきましては、中間配当金を、1株当たり32円50銭とさせていただきます。年間配当金は6期連続の増配となる、1株当たり65円を予定しております。

今後の取り組み

今後も、中期経営計画「VISION2016」を推進し、さらに成長を加速させ、中長期的に安定成長できるバランスの取れたビジネスポートフォリオを充実させていきます。2016年度には、売上高を2兆6,300億円、営業利益を過去最高となる2,200億円に拡大し、ROE7%の実現を目指します。

株主の皆様には、今後ともなお一層のご支援、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

2015年12月

代表取締役会長・CEO

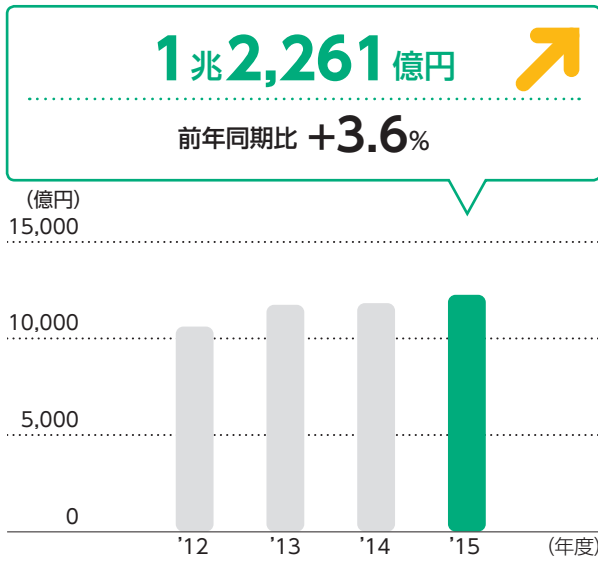
古森重隆

代表取締役社長・COO

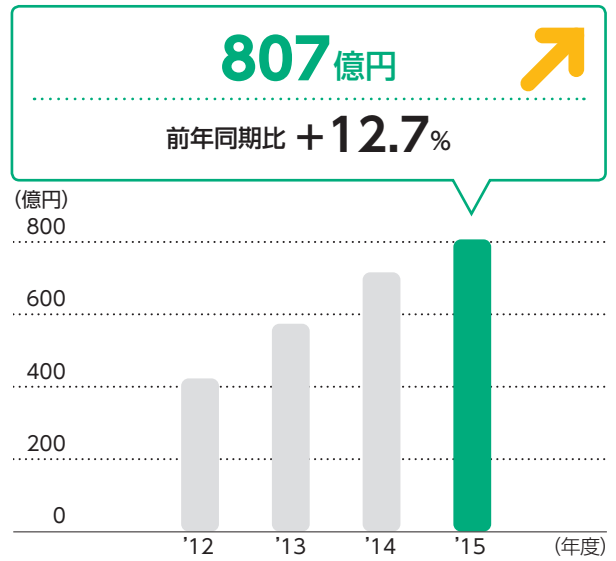
中嶋成博

上期業績ハイライト

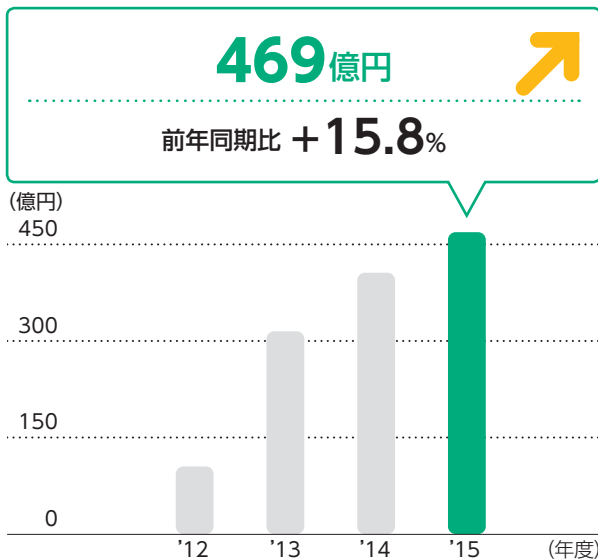
売上高



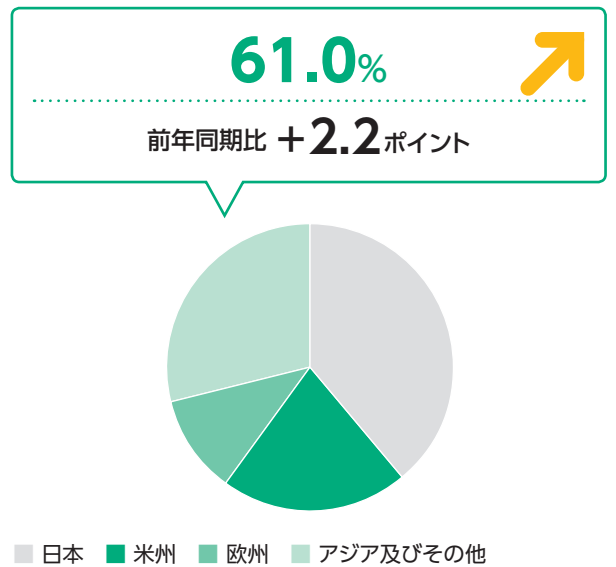
営業利益



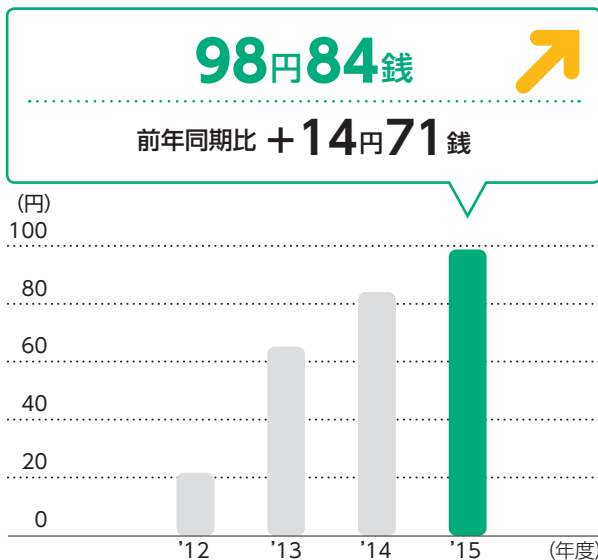
当社株主帰属四半期純利益



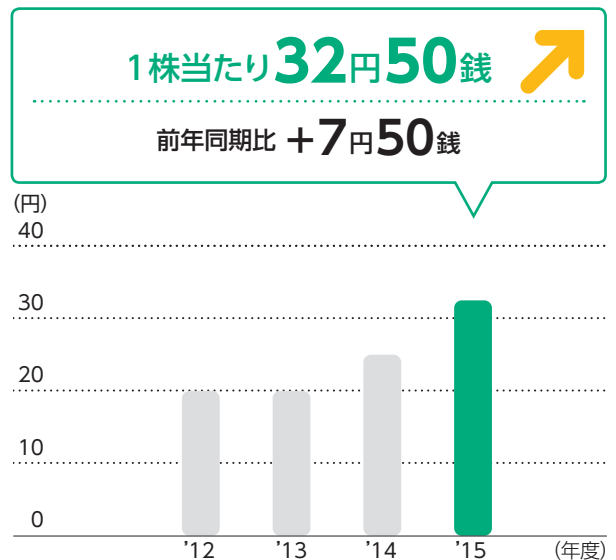
海外売上高比率



1株当たり当社株主帰属四半期純利益



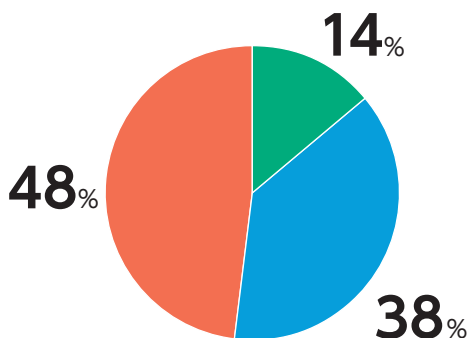
中間配当金



セグメントの状況

■ イメージング ソリューション ■ インフォメーション ソリューション ■ ドキュメント ソリューション

売上高構成比



売上高
1兆2,261 億円

サブセグメント別売上高

フォトイメージング
1,201 億円

光学・電子映像
530 億円

ヘルスケア
1,920 億円

フラットパネルディスプレイ材料
456 億円

産業機材・電子材料
522 億円

記録メディア
218 億円

グラフィックシステム
1,455 億円

その他
33 億円

オフィスプロダクト
2,567 億円

オフィスプリンター
1,001 億円

プロダクションサービス
805 億円

グローバルサービス
943 億円

その他
610 億円

イメージング ソリューション

売上高 **1,731** 億円 (前年同期比+**2.4%**) 営業利益 **124** 億円 (前年同期比**2.7**倍)

業績概要

- “チェキ”をはじめとしたインスタントフォトシステムの販売が欧米を中心に大きく伸長
- 「Year Album」などの付加価値プリントビジネスの拡大、プリント機器・材料の拡販により売上が大幅増
- プレミアムデジタルカメラ「Xシリーズ」の販売が好調に推移

今後の取り組み

- “チェキ”の年間販売計画を500万台に上方修正し拡販を強化
- プレミアムデジタルカメラ「Xシリーズ」の交換レンズのラインアップを拡充しさらなる拡販
- 他社に先駆けて発売した4Kカメラ対応の放送用ズームレンズの拡販

インフォメーション ソリューション

売上高 **4,604** 億円 (前年同期比+**3.8%**) 営業利益 **348** 億円 (前年同期比+**7.4%**)

業績概要

- 医療ITシステム、内視鏡、超音波診断装置などの販売が好調に推移し売上が増加
- 産業用機材は「エクスクリア」や太陽電池用バックシートなど新規事業の販売が好調に推移したことなどにより売上が大幅増
- グラフィックシステムでは、産業用インクジェットヘッドなどの販売が好調に推移

今後の取り組み

- メディカルシステムでは、独自性のある新製品や新興国での拡販を強化
- フラットパネルディスプレイ材料では、液晶テレビ向けの拡販、中小型ディスプレイ向けに薄膜品の拡販を推進
- 記録メディアでは、「BaFe磁性体」などの独自技術で業界をリードするとともに、データアーカイブサービスのさらなる展開などにより売上を拡大

ドキュメント ソリューション

売上高 **5,926** 億円 (前年同期比+**3.9%**) 営業利益 **483** 億円 (前年同期比△**2.7%**)

業績概要

- アジア・オセアニア地域及び米国ゼロックス社向け輸出の売上が増加し、全体で増収
- 営業利益は、米ドル高による原価アップの影響などにより減益
- 成長領域であるプロダクションサービス、グローバルサービスとともに順調に推移

今後の取り組み

- 成長領域の拡大や、アジア・オセアニア地域でのさらなる拡販
- 経費削減及び原価改善施策の追加・加速等で収益性を向上

「インスタントカメラ “チェキ” [instax mini 70] 新発売

“チェキ” [instax mini 70] は、鮮やかなカラーとモダンでシンプルなデザインを採用し、若い女性だけでなく、20～30代の男性もターゲットにした商品です。

被写体と背景のどちらも明るく撮影できる「背景きれいなフラッシュ」を搭載。シャッターボタンを押すだけで、カメラが自動で周囲の明るさを感じ、最適なシャッタースピードやフラッシュ光量に調整します。その他にも多彩な撮影機能を搭載し、バリエーション豊かな撮影をお楽しみいただけます。本製品は、モダンで洗練されたボディデザインが評価され、「2015年度グッドデザイン賞」を受賞しました。



「米国の高純度溶剤製造・販売会社 Ultra Pure Solutions, Inc. (UPS社) を買収

半導体関連の製造プロセスでは、半導体シリコンウエハーの洗浄など、溶剤が幅広く使用されています。同社は、高純度な溶剤を安定的に製造できる業界トップクラスの精製技術を備え、幅広い製品ラインアップを保有しています。今後、UPS社の高度な精製技術による高純度溶剤を用いて、高機能・高品質なフォトレジストや現像液などを開発し、半導体材料の最先端市場をさらにリードしていきます。

「富士ゼロックスがプロダクション・プリンティングのお客様課題解決に向けた新拠点をタイに開設

アジア・パシフィック地域で成長が見込まれるプロダクション・プリンティング市場向けに、高度な付加価値サービスを提供する新たな拠点、「インテグレートド・カスタマー・エクスペリエンス・センター (ICEC)」をタイ・バンコクに開設しました。

ICECは、新たな印刷アプリケーションをお客様とともに開発できるよう、お客様固有の環境を再現し、検証する機能を備えています。ビジネスチャンスを広げる最新の印刷技術や各種関連サービスに加え、最新の機器類を取り揃え、さらなる事業の拡大を推進します。

「ミラーレスデジタルカメラ [FUJIFILM X-T10] 新発売

プレミアムデジタルカメラ[Xシリーズ]の最新モデルとして、軽量コンパクトなボディに、最新のオートフォーカス機能を搭載した[X-T10]を発売しました。写真撮影の基本スタイルに忠実な操作性とデザインを兼ね備え「ファインダーを覗いて撮る楽しさ」を感じるミラーレスデジタルカメラです。本製品は、デザイン性や機能を国内外で高く評価され、「2015年度グッドデザイン賞」や、欧州で権威ある写真・映像関連の賞[EISAアワード2015-2016]を受賞しました。



「ジェリー状先行美容液 [アスタリフト ジェリー アクアリスタ] リニューアル発売

スキンケアシリーズ「ASTALIFT (アスタリフト)」のジェリー状先行美容液「ASTALIFT JELLY AQUARISTA (アスタリフト ジェリー アクアリスタ)」をリニューアル発売しました。

肌に潤いを与える「ヒト型ナノセラミド」に加え、肌に潤いをとどめる世界最小20nmサイズの「ヒト型ナノアシルセラミド」を新たに配合、肌をすみずみまで潤いで満たし、肌表面のバリア機能をアップすることで、キメ・ツヤを整えます。今後も同シリーズをさらに強化し、より多くのお客様の肌悩みにお応えします。



写真の現像技術を応用

インフルエンザ診断システム

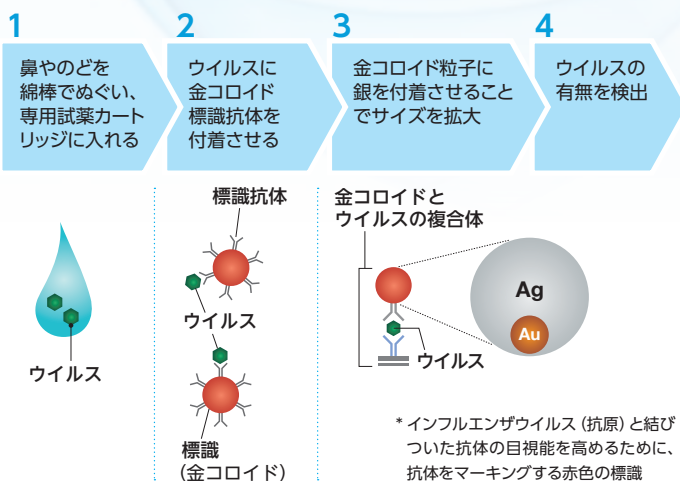
「富士ドライケム IMMUNO AG1」

発症初期では判定が難しかったインフルエンザウイルス感染

例年冬になると流行するインフルエンザ。医療の現場では、インフルエンザの重症化や二次感染を防ぐため発症初期での迅速で正確な診断が求められています。そこで富士フィルムは写真の現像技術を応用したシステムを開発。ウイルスの感染を自動判定する分析装置「富士ドライケム IMMUNO AG1」と専用試薬「富士ドライケム IMMUNO AG カートリッジ FluAB」(インフルエンザウイルスキット)で、発症初期段階でも迅速かつ正確な判定を得ることを可能にしました。

写真の現像技術を生かした、
インフルエンザ診断システム「富士ドライケム IMMUNO AG1」の
感度向上メカニズムフロー

富士フィルムが目指したのは、写真現像に用いる「銀塩増幅技術」。体内にインフルエンザウイルスが存在するかを確認するための標識である「金コロイド標識*」の周りに銀を付着させ、直径約100倍までサイズを拡大することで、ウイルスが少ない状態でも高い検出性能を発揮できるようになりました。



>>> ここがすごい!

「富士ドライケム IMMUNO AG1」

診断精度の向上

今までは感染後、体内のウイルス量が増えてからでないと確定的な陽性/陰性の判定が困難でしたが、発症初期のウイルスが少ない状態でも判定が可能に。

検査時間の短縮

「少しでも早く結果を判定したい」という医療現場のニーズに対応し、従来15分以上かかっていた診断を、ウイルスの多い検体については最短3分半で陽性判定できるように。

自動判定で誤差を低減

「富士ドライケム IMMUNO AG1」の読み取り機能により、結果を自動で判定。これまで行っていた時間管理や目視判断が不要。

「インフルエンザかな?」と思ったら



早めにお近くの医療機関にご相談ください。

インフルエンザ診断システム「富士ドライケム IMMUNO AG1」を導入している医療機関を以下のサイトで検索できます。

>>> <http://influlab.jp/> または

インフルラボ

検索

写真を撮る喜び、プリントして見せる、そして飾る楽しさを多くの方に

今年で

10周年!

"PHOTO IS" 想いをつなぐ。 30,000人の写真展

写真が持つ、「想いを分かち合い、人と人の心をつなぐ力」

富士フィルムは、写真を撮る喜び、プリントして見せる、そして飾る楽しさを多くの方々に実感していただきたいという想いを込めた「"PHOTO IS" 想いをつなぐ。30,000人の写真展」を、7月17日より11月15日の期間、全国29都市で開催しました。応募者全員の作品を“その写真に込められた出展者の想い”とともに展示する日本最大級の参加型写真展で、10回目の開催となる今回は過去最高の35,387点もの作品が寄せられ、80万人を上回る方々が会場を訪れました。写真からあふれる想いと、人の想いをつなぐ「写真の力」。富士フィルムはこれからも、“撮る、残す、飾る、そして贈る”といった写真本来の価値を大切にしながら、お客様のニーズの変化や技術の進歩に対応した新たな商品・サービスを通じて、お客様の「思い出をカタチに」していつまでも残していく大切さを伝え続けていきます。

2015年度 応募作品



タイトル

Honeymoon in UYUNI

作品に込められた
気持ち・メッセージ

一生分の飛行機に乗り
一生分の絶景を見ました



タイトル

こんにちは!

作品に込められた
気持ち・メッセージ

1才の息子は動物が大好きです。
自分より大きな犬でも怖くないんですかね?

写真で広がる「絆ポスト」を通じた コミュニケーション

心が動いた(共感した)作品の出展者に手書きのメッセージを送ることができる「絆ポスト」。毎年、「写真から愛情が伝わった」「なぜか涙があふれてきた」「元気をもらった」などたくさんの感動の声が届けられています。

写真を通じた出展者と来場者の温かいコミュニケーションから、新たな絆を生み出す「写真の力」を多くの皆様に体感いただきました。



M MECENAT AWARDS
2015

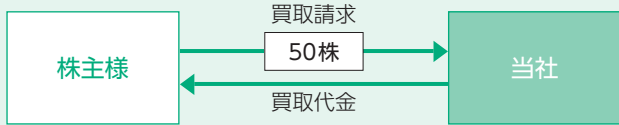
メセナアワード2015
優秀賞「写真伝想賞」受賞

「"PHOTO IS" 想いをつなぐ。30,000人の写真展」は、公益社団法人企業メセナ協議会が主催する「メセナアワード2015」において、優秀賞「写真伝想賞」を受賞しました。この賞は企業による芸術文化支援(メセナ)活動の活性化を目的としており、本写真展は、①応募者全員の作品が希望の会場に展示されるという気軽に参加できる仕組みをつくることで、広く写真を楽しんでもらう機会の創出、②全国のフジカラー取扱店舗と協力し参加を呼び掛けるなど、独自の経営資源を活用し、写真文化の発展に大きく寄与していることの2点が主に評価されました。

〈単元未満株式の買取制度〉

単元未満株式とは、1単元（100株）に満たない1株から99株までの株式のことです。これらは株式市場で売買することはできませんが、当社に対して買取請求をすることができます。

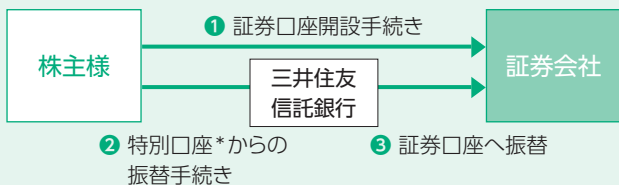
● 単元未満株式50株をご所有の場合



〈特別口座*から一般口座への振替手続き〉

特別口座*に記録されている株式を株式市場で売却することや、特別口座*から新たに株式市場で株式を購入することはできません。株式を株式市場で売買するためには、特別口座*から一般口座への振替手続きを行う必要があります。

● 振替手続き



* 株券電子化実施前に「ほふり」に株券を預託しなかった株主様のうち、株式の記録先口座を提示しただけでなかった株主様の権利を保護するために、当社が口座管理機関（三井住友信託銀行）に開設した口座のことです。

〈お問い合わせ先〉

お手続きの方法および用紙のご請求は、三井住友信託銀行にお申し出ください。

 **0120-782-031** (平日 9:00～17:00)

連結財務ハイライト

貸借対照表

単位：百万円

科目	2015年度 第2四半期末	2014年度末
	(2015年9月30日現在)	(2015年3月31日現在)
資産の部		
流動資産	1,795,084	1,943,215
投資及び長期債権	358,523	380,917
有形固定資産	527,418	527,377
その他の資産	740,521	705,060
資産合計	3,421,546	3,556,569
負債の部		
流動負債	574,633	622,285
固定負債	458,890	466,868
負債合計	1,033,523	1,089,153
純資産の部		
株主資本	2,153,260	2,232,714
非支配持分	234,763	234,702
純資産合計	2,388,023	2,467,416
負債・純資産合計	3,421,546	3,556,569

損益計算書

単位：百万円

科目	2015年度 第2四半期累計	2014年度 第2四半期累計
	(2015年4月1日～ 2015年9月30日)	(2014年4月1日～ 2014年9月30日)
売上高	1,226,064	1,182,894
営業利益	80,671	71,595
税金等調整前四半期純利益	84,599	75,807
当社株主帰属四半期純利益	46,946	40,551
研究開発費	82,918	79,822
設備投資額*	28,528	29,146
減価償却費	57,471	59,083

* ドキュメント ソリューション部門等のレンタル機器を除く。

キャッシュ・フロー計算書

単位：百万円

科目	2015年度 第2四半期累計	2014年度 第2四半期累計
	(2015年4月1日～ 2015年9月30日)	(2014年4月1日～ 2014年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	96,239	129,242
投資活動によるキャッシュ・フロー	△91,720	△79,022
財務活動によるキャッシュ・フロー	△98,601	△2,715
為替変動による現金及び現金同等物への影響	△4,346	11,827
現金及び現金同等物純増加・純減少(△)	△98,428	59,332
現金及び現金同等物期首残高	726,888	604,571
現金及び現金同等物四半期末残高	628,460	663,903

住所変更、単元未満株式の買取・買増、配当金受取方法の指定等のお申し出先株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。

なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行にお申し出ください。

「配当金計算書」について

配当金支払いの際、送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねています。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。

なお、「配当金領収証」にて配当金をお受け取りの株主様につきましても、配当支払いの都度「配当金計算書」を同封させていただいております。

● 会社概要

会社名	富士フィルムホールディングス株式会社
設立	1934年1月20日
資本金	40,363百万円 (2015年9月30日現在)
本社	東京都港区赤坂9丁目7番3号
連結従業員数	78,158名 (2015年9月30日現在)

● 株主メモ

事業年度末日 3月31日

定時株主総会 6月下旬

公告掲載

当社ホームページに掲載します。

URL (アドレス) は次のとおりです。http://www.fujifilmholdings.com/
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。

株主名簿管理人

東京都千代田区丸の内1丁目4番1号

三井住友信託銀行株式会社

郵便物送付先／電話照会先

〒168-0063 東京都杉並区和泉2丁目8番4号

三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)

取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の全国各支店で行っております。

単元株式数 100株

FUJIFILM

